

トレセンコーチの心得

日本サッカーの夢、皆の夢をかなえるために、日々の情熱ある活動に感謝するとともに、サッカーの指導者の模範的存在として、その皆の情熱を不用意な行為・行動・言動等でおとしめることのないよう、以下の条項を心得て指導にあたってください。

- オープンマインドで学び続け、常に資質の向上に努めること
- 指導者として、さらには、トレセンコーチとして、グッドスタンダードを示すこと。身なり、立ち居振る舞いを含む。
- 注目される存在であることを自覚すること。選手、保護者、指導者からも見られる存在であることを自覚し、責任ある行動をすること。
- 人を選抜、指導する立場であることを自覚すること。自らがどのようなパワーを持ちうるか、どのように見られるかを自覚し、責任ある行動をすること。
- 公私の別を明確にすること。
- 飲酒、喫煙については、自覚を持ち、責任と節度を持った対応をすること。
- 指導や講習会には最高のパフォーマンスが発揮できるよう、良い準備をし、コンディションを整えること。
- サッカー、スポーツの現場における暴力の根絶に率先して努めること（しない、させない、許さない）。
- 社会のルール、モラルに反することの厳禁。パワハラ、セクハラ、差別、ドーピング等薬物不正使用、飲酒運転、窃盗、等。
- 運営費、補助金、助成金等の経理処理に関し、適正な処理、情報開示を行い、決して他の目的に流用や不正を行わないこと。
- SNS の利用に当たっては、個人情報、公的情報等の取扱いに十分に留意すること。
- 選手や関係者を個人としてリスペクトし、その名誉やプライバシーに配慮すること。
- サッカー、スポーツの価値を高めるよう、自ら努めること。